

TOTO

ウォシュレット® 一体形取替機能部 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
 ●自治体によって洗浄水量の規制がある場合、洗浄水量を変更できます。(洗浄水量・洗浄モードの切り替え 参照)

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。


必ず実施

施工業者様へ

排水方向が壁排水の現場は、洗浄モードの変更が必要です。(洗浄不良の原因)
 「洗浄水量・洗浄モードの切り替え」に従って切り替えを行ってください。

取り替え可能便器一覧表

ウォシュレット部
TCF○○○○



便器部
CS○○○○


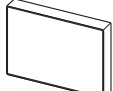
ウォシュレット部品番		便器部品番
TCF9563系	TCF9573系	CS966B系
TCF9683系	TCF9693系	

※機種によって、製品の形状が異なります。




同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しいください。

リモコン部品





ハンガー リモコン


乾電池 (単3形×2本) ねじ(3本) アンカープラグ (3本)

印刷物



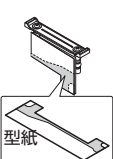
印刷物組品 / 施工説明書(本書)

ウォシュレット本体固定具




取付ボルト (2本)
左用 右用

ベースプレート



型紙

化粧カバー



化粧カバー (ねじ付)

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例

してはいけない「禁止」の内容です。

必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- 浴室など湿気が多い場所には設置しない(火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
- 指定する電源(交流100V)以外では使用しない(火災や発熱の原因になります。)
- 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない(火災や感電の原因になります。)
- 飲用可能な水以外は使用しない(故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
- コンセントは給水位置の真下に設置しない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 車輻・船舶など、移動体への設置はしない(火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)(便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)

<2Pプラグの場合>
 ●アース(D種接地)を確実に取り付ける(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

<3Pプラグの場合>
 ●必ず接地アース極付コンセントに差し込む(変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)

注意

傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない(水漏れの原因になります。)
- 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓や、給水フィルターをはずさない(水が噴き出します。)

●施工は施工説明書に従って確実に(正しく取り付けしないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)

●給水フィルター付水抜栓や、給水フィルターを取り付けるときは確実に締める(確実に締めないとき水漏れの原因になります。)

●電池の+表示をよく確かめて入れる(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)

●長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく(電池の液漏れの原因になります。)

注意

傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

必ず守る

- 電池の+表示をよく確かめて入れる(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
- 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく(電池の液漏れの原因になります。)

取り付け前のご注意

1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
3. 定格15A以上、交流100V(50/60Hz)の埋込アースターミナル付コンセント(3Pプラグの場合は設置コンセント)を単独で使用してください。(電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体のラベルに記載しています。)
4. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
5. 電源コードの長さはウォシュレット：約1.0m、ヒーター付便器：約1.1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
6. 給水圧力範囲は0.07MPa(20L/min流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
7. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
8. 同梱以外の給水ホースを使わないでください。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

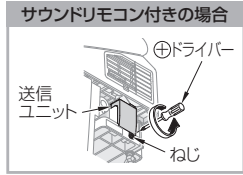
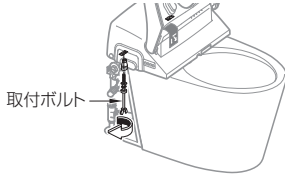
取付方法

●機種によっては、製品の形状などが異なります。

1 既設のウォシュレット本体を取りはずす

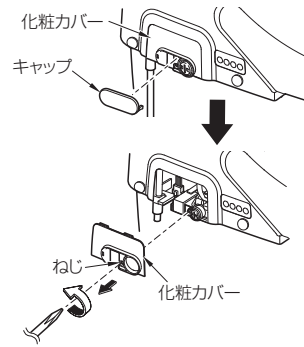
- ①止水栓を開める
- ②給水管の圧抜きをする
 - ①既設のリモコンの「ノズルそうじ」ボタンを押し、ノズルを伸出させる
 - ②もう一度「ノズルそうじ」ボタンを押し、ノズルを戻す
- ③電源プラグをコンセントから抜く
- ④既設のリモコンを取りはずす
- ⑤すっきりパネルを取りはずす

※すっきりパネルは、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。
- ⑥取付ボルト(左右2カ所)、送信ユニットを取りはずす

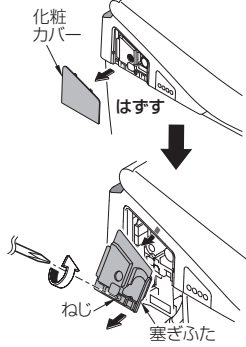


⑦化粧カバー(塞ぎふた)を取りはずす

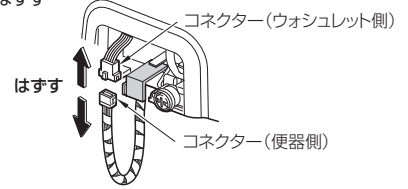
キャップが付いている場合



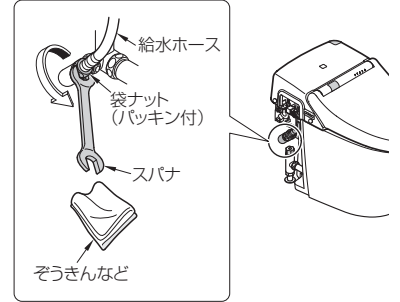
塞ぎふたが付いている場合



⑧便器洗浄バルブ用コネクターをははずす



⑨給水ホースを取りはずす



⑩ウォシュレット本体を取りはずす

※機種によっては、製品の形状が異なります。



注意

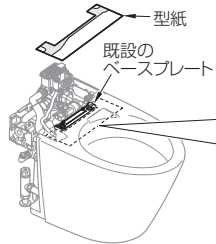
製品を取りはずす際は、製品を無理に引っ張らないでください。(破損の原因になります。)

取りはずせない場合は、手順①～⑨を再度確認してください。

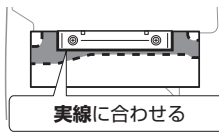
取付方法

2 ウォシュレット本体の取り付け

①既設のベースプレートに合せて型紙を貼り付ける



- ①便器表面の汚れをふきとる
- ②型紙の裏面のテープをはがす(2カ所)
- ③既設のベースプレートに合わせて型紙を貼り付ける(便器表面をかわかしてから貼り付けてください。)



※機種によっては、製品の形状が異なります。

②既設のベースプレートを取りはずす

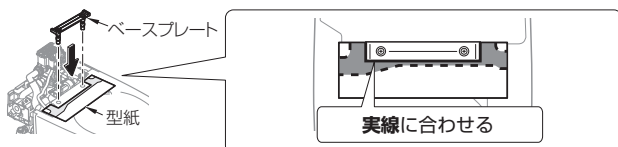
お願い 型紙がズレないようにして取りはずしてください。



③ベースプレートを便器に取り付ける

注意 必ず同梱のベースプレートを取り付けてください。

①ベースプレートを型紙の位置に合わせて便器に取り付ける

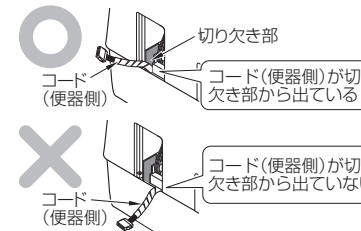


- ②回らなくなるまでボルトをしっかりと締め付ける
- ③型紙をはがす

④ウォシュレット本体を便器の真上から置く

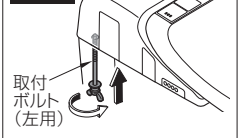
注意

ウォシュレット本体を便器の上に置く際は、コード(便器側)をウォシュレット本体の切り欠き部から出してください。(コード断線の原因になります。)

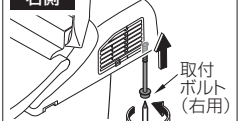


⑥取付ボルトで固定する(左右2箇所)

左側

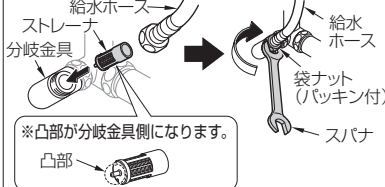


右側



⑤給水ホースと分岐金具を接続する

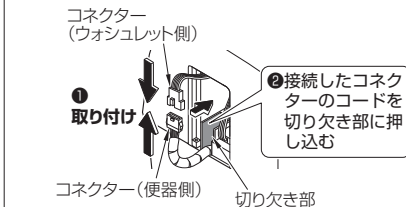
●既設のストレーナがついている場合は、新しいストレーナに取り替えてください。



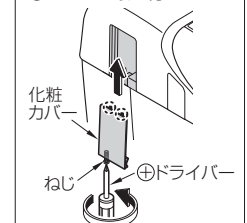
※凸部が分岐金具側になります。

凸部

⑥コネクターを接続する



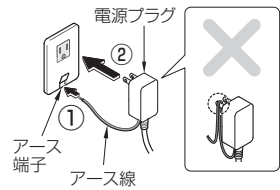
⑦カバーを取り付ける



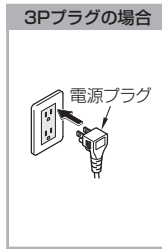
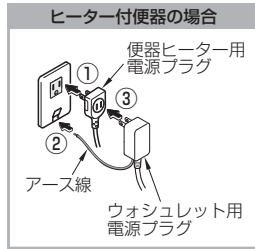
電源プラグ(アース線)の接続と確認

お願い ノズル伸出口にテープが貼られている場合は、はがしてください。

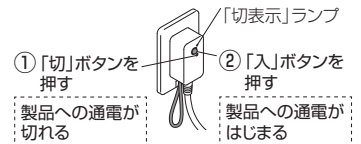
【ノズル伸出口】
テープ



●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する



●電源プラグの動作確認をする

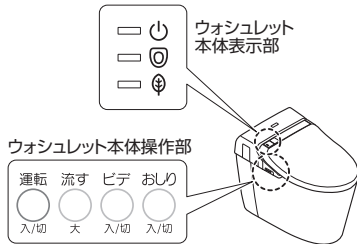


「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

洗浄水量・洗浄モードの切り替え

次の場合は、洗浄水量・洗浄モードの切り替えを行ってください。

- (A)自治体による洗浄水量の規制がなく、排水方向が壁排水の場合
(B)自治体によって洗浄水量の規制がある場合(大洗浄8L、小洗浄6Lの水量に変更することができます。)
・工場出荷時は、大洗浄6L・小洗浄5L・「床排水」モードに設定しています。



- ①運転ボタンを約10秒以上押す(運転ボタンは④まで押したまま、②③を行う)
●ウォシュレット本体表示部が全て点灯する

↓(5秒以内に)

- ②おしりボタンを約5秒以上押す
●ウォシュレット本体表示部が下図の<工場出荷時>のランプ表示に変わる
③おしりボタンを離し、ウォシュレット本体表示部が下図のように表示されるまで、ビデボタンを繰り返し押す

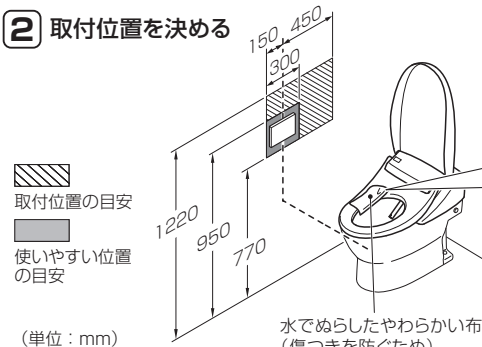
<工場出荷時>	(A)の場合	(B)の場合	
		排水方向が床排水の場合	排水方向が壁排水の場合
消灯 — 点灯	点灯 — 消灯	消灯 — 点灯	消灯 — 点灯
点灯 — 消灯	消灯 — 点灯	消灯 — 点灯	消灯 — 点灯

④運転ボタンを離す(設定完了)

リモコンの取り付け

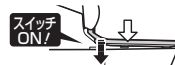
1 リモコンに乾電池を入れる

2 取付位置を決める



【作動の確認】

- ①便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



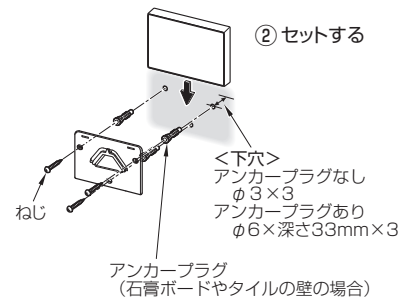
- ②「おしり」ボタンを押して、ノズルが伸出することを確認する
③「止」ボタンを押す

作動しない場合

- リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
●室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
●天井や壁の色(黒っぽい場合)・形状・材質などの条件が合わないとき
●後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
●インバーター方式の照明下のとき

3 ハンガーの取り付け

- ①ハンガーを壁に取り付ける

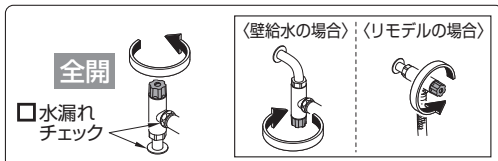


試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

- 試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグが、コンセントに差し込まれていることを確認してください。
(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

1 ウォシュレット本体の確認

- 止水栓を全開にする
※機種によっては、止水栓の位置が異なります。



- 運転ランプが点滅していませんか
→凍結防止が「入」に設定されています。
※仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。
●凍結防止を「入」にすると、右記のように作動します。



2 機能の確認

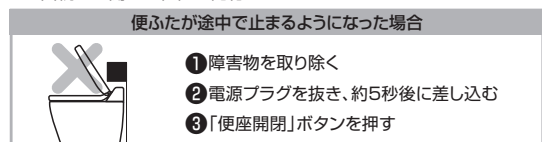
- 便器洗浄しますか
リモコンの「大」洗浄ボタンを押す
□ノズルから洗浄水が出ますか

- ①水でぬらしたやわらかい布(傷つき防止のため)

- 【作動の確認】
②便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



- リモコンで便ふたがきちんと開きますか
※3回続けて開いた位置を記憶します。



給水フィルターの掃除（試運転後）

【便器側】

1



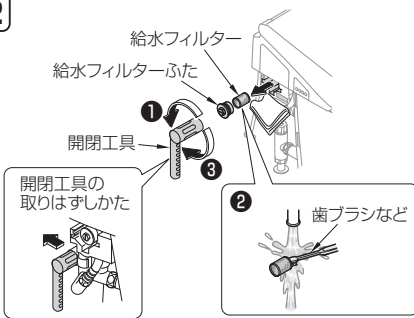
壁給水の場合

リモデルの場合



- 2 ノズルを伸出させる
※給水管内の圧抜きです。
1. 「ノズルそうじ」ボタンを押し、ノズルを伸出させる
2. もう一度「ノズルそうじ」ボタンを押し、ノズルを戻す

2



注意 確実に締めないと水漏れの原因になります。

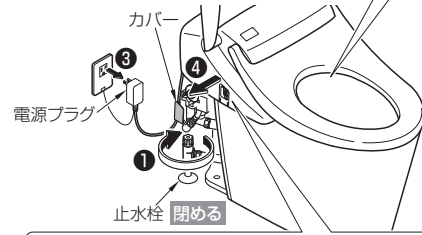
3



【ウォシュレット側】

1

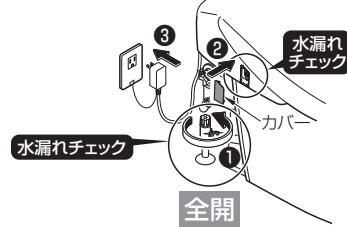
2 ノズルを伸出させる→左記【便器側】1-2参照



給水フィルター付止水栓



2



製品引き渡しまでの期間が長い場合

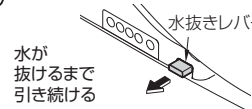
1

- 流動方式のとき
止水栓を閉める
- ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める
お願い 止水栓は開けたままにしておいてください。

2

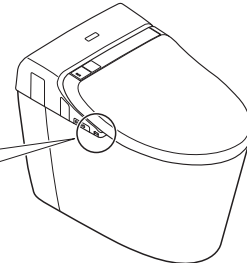
- 配管の水を抜く
(給水フィルターの掃除(試運転後))
【ウォシュレット側】1-2③④⑤⑦参照
※電源プラグは抜いたままにしておいてください。

3 ウォシュレット内の水を抜く



- ノズル付近から水が便器内にです。
水が完全に抜けるまで約20秒かかります。

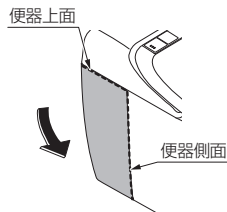
- 凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)



すっきりパネルの取り付け

■すっきりパネルを取り付ける

- すっきりパネルは、便器上面と便器側面にあわせてすき間がないように取り付ける



施工業者様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡してください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。